

令和2年度 第2回大分教育事務所学校訪問まとめ

令和2年11月13日(金) 11:00~11:40 西校舎PC・多目的室

1 開会

2 校長あいさつ

3 職員自己紹介

4 大分市教育事務所関係者自己紹介

大分教育事務所

武野 太

大分教育事務所 所長

日高 みつほ

学校改革担当指導主事

福田 英隆

指導課指導主事

5 授業参観 西校舎(5,6年生) 【授業参観15分】 11:05~11:20

北棟(2階) 5-1(国語:川邊) 5-2(社会:生野) 5-3(英語:高岡・右田)

(3階) 6-1(理科:平) 6-2(図工:川村) 6-3(社会:江藤)

6 小中学校の経営と取組 【協議15分】 11:20~11:35

① 学校からの説明「学校マネジメント4つの観点」について (金子)

② 学校課題の解決に向けた組織的な取り組みについて

・学校経営計画(マネジメントツール)・子どもたちの「成長」 (廣田)

・教科担任制推進(5・6年生) 家庭での重点的な取組週間 (平山)

・生徒による授業評価 授業セルフチェックシート(授業改善) (阿南)

・体力向上・健康増進 (廣田) いじめ・不登校対策の推進 (金子)

・通常学級における個別の指導計画の推進について (平山)

7 全体講評

①日高指導主事より

・たくさんの資料を示して、説明してくださり、ありがとうございます。目標や取組、結果を数値化し、データの詳しい分析があり、学校全体で取り組んでいることが分かった。

・教育目標について 昨年度と変わらない「やさしく かしこく たくましく」であるが、学習指導要領での3つの柱(①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力、人間性等)を踏まえつつ、学校の教育目標とともに、育成する資質・能力のより具体的な姿を明らかにしていくことが重要である。教育目標についてはどのように考えているか。

②福田指導主事より

(参観授業について、限られた時間で見た範囲で述べます、との前置きがあった上で)

・子どもが楽しんで取り組めるように教材を工夫して、準備されていた。

・「全然わからん」という子どもがいたが、手だては準備されていたのだろうか、気になった。

・動画を見せていた授業で、材料の動きが見えると、理解しやすいと思う。

・ノートに何も書いていない子どもがいた。支援が必要なのではないか。

- ・めあての設定がしっかりできているが、板書では簡略化しためあてを書いている授業もあった。めあては具体的に書くとよい。
- ・めあてに対しての振り返りがしっかりと行われており、よかった。
- ・振り返りで、ペアで伝え合う対話形式で行っている授業もあった。そのような対話を一步進めて、相手がまとめたものに対して、質問・意見を言い合えるとよい。取り組んでみてほしい。

③武野所長より

- ・学校全体の取組が短時間でよくわかる。エビデンスをもとに大変よく進められている。
- ・参観授業で、授業力の高い先生方だと感じた。よく授業準備ができている。
教科担任制の説明と参観授業で、小学校の高学年部がチームとなり、取り組んでいる様子が伝わった。小学校の高学年は難しいという状況の学校が多い中、教科担任制を推進している賀来小中学校は、教育活動を充実させていることが分かった。教科担任制の児童・生徒の声は、これから教科担任制の推進に向けて、参考になる資料だ。資料の活用をさせていただきたい。
- ・生徒による授業評価について、県内の中学校では、ほぼ100%取り込まれるようになった。この授業評価については、先生たちが謙虚な姿勢で受け止められる組織であってほしい。
- ・県内でも不登校が増えている。賀来小中学校では、不登校の生徒に向き合った相談室経営ができている。県教育委員会も、不登校の生徒に対して何ができるか模索中である。例えば、情報機器等を使い、学力保障ができないかなど。
- ・(県教育委員会の取組として)ICTについても推進していきたい。主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT活用として、授業で一人一台アイパッドを使えるよう、考えている。
- ・先生たちの働き方改革推進について 行事の精選などをすると保護者や地域の声があるだろうが、進めていってほしい。このままでは持続可能な教育ができないと考えている。理由は3つ。
①もし先生が倒れてしまったら(代わりがない) ②先生が疲れていたら(よい授業もできない) ③学校はブラックだから先生になりたくないと思われてしまったら……。
- ・賀来小中学校は、子どもたちがよい表情で授業を受けていて、それは先生たちのおかげである。先生たちのおかげで、よい学校になっている。本日はすばらしい資料をたくさん頂いた。これだけの資料があれば、学校運営について、どの校長も経営の仕方を学べるだろう。ぜひ、私たちの立場から活用させていただきたい。

8 校長謝辞

御礼と教育目標についての考え(新学習指導要領の主旨をとらえ、本校の教育課題のもと整理する等)を述べた後、今後とも取り組んでいきたいことを話す。

- ①数値を大切に子どもたちの成長につなげていきたい。
- ②「大分県公立学校教員育成指標」をエビデンスにキャリアステージに応じた「賀来小中版」の作成に努めたい。
- ③管理職はじめ人材育成が重要。学校マネジメントを推進していきたい。
- ④教師が子どもに向き合う時間の確保のための、働き方改革の推進である。努めたい。